

沿道の桜の花は早くも散ってしまいましたが、子どもたちは新しい学年への期待に胸をふくらませながら、いつもより早く登校してきました。

新しく本校に着任した7名の先生方の紹介をした後、始業式を行いました。担任等の発表をし、早速新しい学級が始動しました。また、児童代表の作文発表では、今年度の抱負を分かりやすく語っていました。

児童数は、明日入学式を迎える1年生を含めて、昨年度より微増の516名でスタートします。



作文を発表した2年生
岸下くん(右)と5年生
田浦さん(左)



今年度もよろしくお祈りします！

昨年度に引き続き、校長を務めます金子です。今年度もコロナ禍は収まる気配はなく、マスクの着用や手指の消毒、密を避ける生活など、制約は続きます。そんな中でも「喜々津小の子どもたちの力を伸ばす」ことを第一に、保護者の皆様や地域の方々と一緒に教育を進めてまいりたいと思います。以下は私が始業式で話したこと（抜粋）です

1 笑顔になる「一秒の言葉」を使おう

あいさつは人と人をつなぐ魔法の言葉です。しかも、笑顔であいさつを交わすと、うれしさとやる気も湧いてきます。また、「ごめんなさい」や「ありがとう」が素直に言えると、言われた方は心が温かくなります。その反対に、「バカ」「消えろ」などの言葉は、人を傷つけ、やる気を奪ってしまいます。そうではなく、「だいじょうぶ」、「がんばって」、「いっしょにやろう」などの言葉をかければ、学校は笑顔があふれる、楽しい場所になります。言葉は使い方次第で、人を悲しませることもあれば、笑顔にすることもできます。皆さんから、笑顔になる「一秒の言葉」をたくさん聞きたいと思います。

2 仲間を大切にしよう

今日から新しい仲間ができます。その中には背の高い人もいれば低い人もいる、おしゃべりが得意な人もいればおとなしい人もいます。みんなそれぞれです。それを個性といいます。学級の仲間、地区の仲間、クラブの仲間といろいろありますが、その中で個性を認め合い、同じ仲間として助け合うことが大切です。人は一人ではできないことも、仲間がいればできることがあります。仲間に助けってもらったり、仲間に励まされたりすることで、伸びていけることがたくさんあります。そんな仲間を大切にしたいと思います。

3 3つの「あ」を頑張ろう

喜々津小学校では、3つの「あ」に取り組んでいます。1つ目の「あいさつ」は、朝の登校中から頑張りたいです。ちゃんと相手の顔を見て、「おはようございます」とはっきり言えるようにしましょう。2つ目の「あつまり」も大事です。今年度は、1時間目の始まりが10分早くなります。まずは7時50分までに登校し、朝の活動や授業に間に合うようにしましょう。3つ目の「あとかたづけ」については、トイレのスリッパがきちんと並んでいない時があります。スリッパを揃えるのにかかる時間はほんの2～3秒です。3月の修了式で話しましたが、それが習慣になれば当たり前になってきます。自分の使った物を片付ける習慣を身に付けましょう。

今まで話したことを「どうせ自分は…」「できっこない」と思ってしまうと、成長できません。うまくいかない時があっても、「あと少しがんばってみよう」と思うことが、伸びる第一歩です。先生たちは、君たちは伸びると信じています。新しい友達と伸びたことを喜び合える1年になるよう願っています。

日課の変更について

今年度より日課を変更します。1時間目の始まりを10分早め、それに伴い、5時間目や6時間目の終了が早くなります。詳しくは、昨日配付の「日課表」で下校時刻等を御確認ください。なお、登校は7時50分までに校舎へ着くよう指導しております。特別の事情を除き、遅れないようにお家を送り出してください。